

## 4 報告事項

## (1) 令和 7 年第 3 回富里市議会定例会一般質問について

令和 7 年 6 月議会一般質問答弁要旨

## ■デマンド交通について

## ◇(1) 現状及び課題について

○デマンド交通キャロリン号は、多様化する市民の移動ニーズや、高齢者の移動手段などの課題解決を図り、既存の路線バス、タクシーなどの公共交通を補完すべく、令和 4 年 10 月 1 日から運行している。

利用登録者数は令和 7 年 3 月末日現在で 6,278 人、年度別の利用者については令和 5 年度が延べ 4 万 7,688 人、令和 6 年度が延べ 5 万 2,605 人となっており、市民の移動手段の一つとして定着しつつあると認識している。

また、利用者数全体に占める 70 歳以上の方の割合は令和 5 年度が 63.4 パーセント、令和 6 年度では 60.7 パーセントと、高齢者にとっても、重要な交通手段として活用されているものと考えている。

○現在のデマンド交通の課題としては、平日の午前中に利用が集中し予約が取りづらいこと、また、インターネットで容易に予約が可能となったことに伴い、必要以上に多くの予約を取ることで、ひと月当たり約 100 件の無断キャンセルが発生していることなどが挙げられる。

これらの課題解決に向け、ウェブ予約も電話予約と同様に、利用日 2 週間前からの期間内において 5 日分、行き帰りを考慮し 10 回までの予約回数までとするシステム改修に着手したところであり、無断キャンセルが多い利用者に対しては注意を促すなど、少しでも予約が取りやすい体制づくりに取り組んでいく。

## ◇(2) 持続可能な運用に関する取組の状況について

○デマンド交通をはじめとした市内の公共交通の担い手を確保するため、新たに就職する方への市独自の支援制度を創設し運用している。

また、混雑状況の解消については、令和 8 年度へ向けた車両の増車や効率的な運用などにより、安定的な運行を提供するため、運行事業者と協議を進めているところである。

今後も、地域公共交通会議を中心とした、有識者や関連事業者の専門的な知見を踏まえ、これまでに蓄積した運用データ等を活用しながら、市の地域特性に合った、より利便性が高く持続可能な交通施策について、引き続き取り組んでいく。

◇(再質問) 予算確保の観点と、利用者の属性に応じた利用料金設定の考え方について

○本市のデマンド交通における利用料金設定については、本市を運行している路線バス、福祉移送サービスやNPO法人等が運行する福祉有償運送などの料金設定との調整などを図り決定している。

限られた財源の中で効率的な運用が求められていることから、今後については、利用者の年齢、利用目的や利用日時などに応じた料金体系のあり方についても検証が必要であると考えている。